

## 1. 社会福祉法人 朋 愛 会

今年度は山口県に初めて新型コロナウイルス感染症の罹患者が出たというニュースで幕が開けました。治療手段もなく、高齢者や基礎疾患を有する方は感染すると重症化しやすいため法人として、感染経路を遮断するために積極的に感染症対策を立て取組んできました。

職員、入所者、在宅のサービス利用者ならびにそれぞれのご家族の皆様にも3密の回避、マスクの着用、不要・不急の外出自粛、ゴールデンウィーク、お盆時期、年末年始の帰省等の自粛を要請し、家庭内感染ならびにサービス提供事業所内でクラスター（感染者集団）を発生させないように徹底しました。施設入所者の皆様には、面会制限、外出・外泊の禁止等、県内・市内の感染状況を確認し、規制強化と一部緩和を繰り返しながらも、窓越しの面会、アクリル板等のパーテーションを用いた面会、タブレット等を活用した玄関からの面会、ご遠方のご家族の皆様には、「Z o o m」というアプリを使用して、テレビ電話と同様に映像と音声を使って、コミュニケーションをとる事ができるよう環境整備もいたしました。

令和3年1月には全国的に高齢者入所施設や障害者施設でクラスターが大幅に増加しました。市内でもクラスターが発生するなど身近なところで報道されるようになり感染対策の更なる強化が求められました。

在宅福祉サービス利用者の皆様には、コロナ禍の中、利用時の注意事項について定期的にお知らせをご自宅に配布しました。利用者本人が陽性と判断された場合は勿論の事、ご家族内にも熱発している方がいた場合や、同居のご家族の職場・学校内等でクラスターが発生し濃厚接触者として疑われる場合、県外の感染地域からの帰省等により感染が疑われる場合は、やむを得ず利用の一時中止をお願いすることもあり担当のケアマネジャーに連絡するたびに苦慮しました。また、ご家族やご利用者本人からの利用控えもあるなど今年度は、各事業所とも減収を避けきれない状況になりました。

利用者の生活を守る上でも職員に対して感染源にならないよう責任のある対策が必要です。職員への感染対策としては、毎日の検温の徹底、行動記録表の提出、県外への外出・外泊届の提出、帰省者・来訪者の予定表の提出を求めてきました。また、37.5度以上の発熱があった場合は、法人独自の有給の特別休暇3日間を設け該当職員は出勤停止にするなど、感染症対策委員会が光風園病院と連携し職員への感染対策を強化してきました。

「令和2年度新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業」による県補助金を活用し介護慰労金事業として一人当たり5万円を全従業員に対し支給しました。そして「介護サービス提供支援事業交付金」も活用しコロナ感染対策備品を購入することができ、財政的に助かりました。

しかしながら第2波・第3波と感染が全国的に拡大し、医療機関は、逼迫状態となり医療崩壊が叫ばれる中、緊急事態宣言の再発令、蔓延防止など感染対策の一層の強化が求められてきました。

今年度は、コロナ禍の為、地元文化祭、祭り等の行事、長府東部地区まちづくり協議会共催による「福祉映画の上映会」、下関市社会福祉法人地域公益活動推進協議会の地域活動は全て中止となりました。また、実習生の受け入れ（教員免許に係る福祉体験実習、大学、専門学校、看護学校）も中止することになりました。その様な中でも、生活必需品を確保する買物バスの運行は、地元の自治会6箇所と各月ごとに協議し、感染状況をみながら中止又は実施してきました。地域清掃活動への参加も感染予防対策をとりながら実施し、職員研修等は、「Z o o m」を活用した研修等を利用し受講するなど、コロナ禍でもできる方法を見つけ、取り組んできました。

今年度も前年同様、建物内の器具ならびに備品等の耐用年数が経過し修繕費や購入費が経営に影響を与えましたが、懸案事項でした特殊浴槽一式は、県労働局の「人材確保等支援助成金（介護福祉機器助成コース）」を活用し導入することができました。今後も助成金を有効に活用し計画的に更新していきます。

寄附金収入として、みどり園の嘱託医師として永年ご尽力いただきました故木下和代氏の生前の意向により昨年9月、ご遺族様から法人運営に役立ててほしいとご寄付がありました。

これからも、地域に根差した法人経営を目指し、更なる地域福祉の向上に活用させていただきます。

## 2. 介護老人福祉施設 みどり園

令和3年3月31日現在、61歳から104歳までの84名（男性18名・女性66名）の方が生活され、平均年齢は88歳4か月、要介護度平均は4.3で前年度と同水準になっています。要介護5の方が全体の42%、要介護4と5の占める割合が全体の87%と重介護の方が大半を占めている現状です。

今年度の退所者は36名と過去5年間で最も多い退所者数でした。その内訳は、死亡が15名、長期入院が20名、介護医療院への入院が1名でした。死亡場所で見ると病院2名・園内13名となり内4名がターミナルケアで園内での看取りでした。今後も慣れ親しんだ園内で最期を迎えたいと希望する入所者をはじめ、ご家族からのご要望は多いものと判断します。

退所から入所までの調整期間は、原則、欠員が出た翌日にロングショートステイ利用者に入所して頂き空きベッドを無駄にしない様に努めた結果、平均4.4日と前年度に比べ欠員期間を短縮する事ができました。しかし、前年同様、短期間に退所者が続出しロングショートステイ利用者の確保が追い付かなかったため空床ベッドを作る事にもなりました。引き続き、利用者の確保に努めるため早めの候補者選定について、全スタッフが協力し、欠員期間を限りなく0日に近づけるよう取り組んでいきます。

月間入居率は、平均96.2%、入院総件数は35件となり平均入院日数は29.1日でした。中長期化の入院になるかどうかは、治療をお願いしている病院の医療相談員へ治療状況を確認する際に判断し、施設での生活が難しい状況となれば、早い段階でご家族へ、再入所できることなど、しっかり説明し、待機者にベッドを譲っていただくよう対応に努めました。今年度も入院日数の縮減ができるよう努めましたが、今年度は新型コロナウイルス感染症対策に伴い、退院の調整に日数を要してしまい、昨年入院日数を上回る結果となりました。今後も入所者の体調管理をはじめ、体調変化・不良等を早期に発見し、対応することで入院件数ならびに入院日数が減少するよう多職種で連携を図っていきたいと思います。また、今後も空床ベッドを有効活用する様に努めていきたいと思います。

入所者の高齢化・重介護化の現状において、入所後にご家族に対し、ご本人に起こりうるリスクについて十分に説明し、リスクカンファレンスで話し合った内容をケアプランに反映し、入所者やご家族からのご要望に対する関わり方、介護方法や記録のあり方についても協議・検討し、統一したケアを心がけました。

今年度も入所者の皆様が快適な生活を楽しめるように、職員一人一人が初心に立ち返り、サービスの基本である、「入所者の人格の尊重」・「入所者の立場に立ったサービスの提供」・「入所者の安全確保」・「入所者の苦情に迅速かつ適切に対処する体制づくり」を念頭においてサービス向上に取り組んできました。コロナ禍の為、入所者のご要望を取り入れるための「入所者懇談会」や、ご家族のご要望をより運営に反映させるための「茶話会」は中止となりましたが、郵送による満足度アンケートを実施し情報収集に努めました。今後も期待される施設としての役割を果たします。

今年度は、新型コロナウイルス感染症に伴い、市内でも福祉施設・通所介護施設等でクラスターが発生するなど身近な所で感染事案が報道されるケースが増加してきました。入所者ならびにご家族の皆様には、県内・市内のコロナ感染状況を定期的にお知らせし、その都度、従業員にも行動制限等の自粛を要請し、防止対策の徹底に一丸となって取り組んできました。そうした不安な日々が続いている中、少しでも安心してお過ごしいただけるよう気分転換が図れるよう企画し取り組んできました。ご家族の皆様には、入所者の皆様の心身状態が把握できるよう、お手紙・写真・電話等で日々の様子、状態報告を行い対応してきました。

次年度以降も面会制限や入所者の外出・外泊の自粛など感染対策が求められています。変異株により更に感染が拡大するものと予想されます。コロナワクチンの接種が済むまで引き続き感染予防対策に取り組み、安心・安全に生活がお過ごしできるよう努めます。

### 3. みどり園短期入所生活介護

今年度は、新規利用者41名を含め、実人員72名の方がサービスを利用されました。前年度と同様にロングステイ利用者の受け入れ確保に努めてきました。ロングステイ利用者は、特養への入所申し込みをされている方で、在宅福祉サービスだけでは在宅生活の継続が困難な方や、すでに在宅生活が難しく老人保健施設等の施設に入所されている方、もしくは病院に入院され在宅復帰が難しい方を対象に、居宅介護支援事業所と協議の上、入所検討委員会で決定してきました。ロングステイ利用者の受け入れには、コロナ感染禍の中では、面会による直接調査ができないためアセスメントシート、情報提供による書面にて介護・医療的な側面を確認し、園内で対応が可能かどうか現場の意見を聞き判断してきました。ロングステイ利用者は、施設入所者に欠員が生じた場合、速やかに施設入所が出来る等、一連の流れが確立されている為、ご利用者並びにご家族も安心して利用されていますが、短期間に複数の方が入所されますと、次のロングステイ候補者の選定に時間を要してしまい空所期間を延ばす要因にもなります。出来る限り空床期間を短縮できるよう各関係機関へ声掛けをおこない、早急に入所希望を有する方を対象に調査件数を増やした結果、令和2年度は28名の新規ロングステイ利用者を受け入れました。

コロナ感染対策として今年度は、利用時に確認シートを事前にご家族等にお渡しし、ご利用者、ご家族へ検温を実施し37.5℃以上の熱がある場合、コロナ症状等の類似症状が出た場合はサービスの中止、感染地域からの来訪者、帰省者との接触があった場合は、14日間の利用中止をお願いしました。事業所からクラスターが発生しないよう細心の注意をはらいながら受入をしてきました。

また、市内でのコロナ感染者数増加もありご家族やご利用者からのサービス利用控えや利用予定者の体調不良や入院等による突然の利用キャンセルもあり、令和2年度の延べ利用者数は、4,187名と前年度比6%減、1日平均利用者数11名、稼働率68.8%と下回る結果となりました。しかしながら、コロナ禍の影響もあったため、今年度の介護報酬収入は、臨時的に加算の特例があり大幅な減収を避ける事ができました。

令和3年度は、ロングステイ利用枠を13名と拡大し、ベッドの稼働率を上げるため事前に計画的に、次期ロングステイ利用候補者の選定、次期施設入所候補者の選定など先を見通した取組みを行います。引き続き、各関係機関との連絡・連携を密にし、ご利用者ご家族の要望に幅広く応じられるよう、居室及び職員体制を整備し信頼関係の構築を図るとともに、利用者が楽しみを持って利用できるようアクティビティプログラムの再検討を行い「毎月利用したい」「不安なく施設に入れました」と言っていただけのように、サービスの質の向上に努めます。

### 4. みどり園訪問介護事業所

#### ア. 予防給付型訪問サービス、訪問介護

予防給付型訪問サービスは、日常生活上の基本動作がほぼ自立しており、状態の維持・改善の可能性も高い要支援者を対象とするものであり、本人の目標に向けたケアマネジメントに基づきその人らしい生活を支えるサービスを提供する事業です。実利用者数が、令和元年度は83名、今年度は78名と前年度と比較すると5名利用者が減少しましたが、利用件数は前年度より約151件増加しました。コロナ過により、家族支援や外出を控え、買い物依頼による1週間に複数回利用する方が増えている事が考えられます。引き続き、地域包括支援センターとより一層の連携を図り予防に力を入れ、利用者の意欲を引き出し、本人の望む在宅生活を1日でも長く安心した在宅生活を送るお手伝いをさせていただきたいと思っています。

今年度も、昨年度の介護報酬を下回らないようにと目標を置き、日々取り組んでまいりました。訪問介護の今年度の派遣回数は7,671件（前年7,28

1件)と390件増加しました。実利用者数が元年度は83名、今年度は78名と減少し、身体介護の援助も減少しましたが、予防給付型訪問サービス同様、週1回のお掃除や料理、買物等の生活援助の利用者が869回も増えるなど延べ回数が増えている事が現状です。昨年同様、新型コロナウイルスに対して利用者が外出を自粛、買物援助が増えてきているのも考えられます。

来年度はより適正な事業活動を行うと共に、令和3年度の事業目標に掲げている、信頼され・愛され・支持される事業所を目指し、地域に根ざした福祉サービスの提供に努めて参ります。今後も在宅で援助を必要とする方々によりよい在宅生活の提供ができるよう、安全で安心したサービス提供を心がけ、利用者の置かれた状況に即した課題を挙げ、個別性を重視していきます。一人暮らしの高齢者や、高齢世帯にとって体調管理は大変重要です。個々の体調に目を向け、異変の早期発見、早期対応に心掛けていきたいと思っております。

## イ. 指定居宅介護・重度訪問介護

指定居宅介護とは障害程度区分1以上の方に対し、身体介護、家事援助、通院等介助等のサービスを行なう事業です。

また、重度訪問介護は障害程度区分4以上の重度肢体不自由者の方を対象とした事業です。今年度は重度訪問介護の実績はありませんでしたが、今後依頼があれば随時すみやかな対応に努めていきます。

指定居宅介護は、派遣回数1,008件(同行援護40件含む)、(前年度1,988件)の活動実績がありました。毎日複数回利用していた方が7月に入院されたため、前年度と比較すると、980件減少しました。

今後も利用者にとって訪問介護は生活に欠かせない存在であるため、全てのヘルパーの質の向上を図り、専門的な知識と柔軟性を持ち、利用者に安心した生活を提供できるよう努めて参ります。

## ウ. 同行援護

同行援護事業とは、視覚障害により移動に著しい困難を有する障害者に付き添い、外出時において、当該障害者等に同行して行う移動の援護、排泄及び食事等の介護、その他の当該障害者等が外出する際に必要な援助を行う事業です。週1回利用されていた方も今年1月から体調不良で入院され、現在は自宅療養にて体調安定を待っている状態です。

今後も幅広い対応ができるようサービス提供責任者資格要件の研修である「同行援護従業者養成研修」の一般課程及び応用課程の受講をするなど、従業者の育成に継続し努めていきたいと思っております。

## エ. 下関市移動支援サービス事業

下関市移動支援サービス事業とは、下関市の認定を受けた屋外での移動が困難な障害者等について外出の為の支援を行うことにより、地域における自立生活及び社会参加を促すことを目的とした事業です。

今年度は対象者がいませんでしたが、いつでも外出に不安を抱かれている利用者に対し、安心して安全な移動ができる支援を行う事ができるよう、派遣態勢

を整えています

## 5. みどり園デイサービスセンター

### I. 介護予防通所介護・通所介護

1日定員30名、サービス提供時間7時間以上8時間未満の枠内で、入浴・食事・機能訓練・レクリエーションの提供と、ご自宅まで直接伺う送迎サービスを行いました。年度当初1日平均利用人員28名を目標に取り組んできましたが、今年度は1日平均22.4名、延べ6868名のご利用にとどまりました。令和2年1月末に事業廃止した『みどり園ニコニコデイサービスセンター』と事業統合したこともあり、前年度（延べ5866名）と比較すると17.1%の増加となっておりますが、利用者数は伸び悩みました。原因としては、複数回利用のご利用者が相次ぎ施設入所した事、短期入所などの定期的利用又は体調不良による突然のキャンセル、疾病等による長期入院に伴う利用中止になったためです。

一方、新規顧客獲得のため各居宅介護支援事業所等へ訪問、電話、チラシ送付による広報活動を行い、ご利用者の紹介をお願いしました。お蔭で体験利用者ならびに新規顧客としてご利用者の増加もありましたが中止等により利用人数に反映しませんでした。新規利用者は、介護度も低く利用回数も週1回・週2回で介護報酬の増収は望めませんが今後、長く利用して頂ける利用者が多く長期的に見れば安定した実績に繋がると予想します。

コロナの感染状況下で、市内の通所介護事業所でクラスターが発生するケースもあり、ご家族や利用者ご本人からサービスの利用控えもあるなど利用増に繋がり難いケースもありました。また、感染防止対策として、利用者の状態確認票をサービス利用時には、必ず提出していただき熱発等があれば利用中止とさせていただきます。家庭内感染が報道される中、ご家族の皆様にもサービス利用にあたってのお知らせを定期的に配布し、不要不急の外出・外泊禁止等をお願いしながら安心・安全なサービス提供に努めました。また、感染地域の県外からの帰省や来訪等による接触があれば2週間程度、利用を控えて頂きました。それ以外では秋に台風の影響で1日、冬場には大雪の影響で3日の休園となったことも減収の原因になりました。しかし、令和2年6月から令和3年3月まで、介護報酬の臨時特例として基本報酬額の上乗せがあった為、著しい減収を避けることができました。

今年度は、ご利用者が感染対策を取りながら如何に楽しく、有意義なサービス提供時間を過ごしていただけるかに重きを置き、午前・午後からの体操、午後からのレクリエーション、季節を味わうことのできる行事企画を見極め行ってきました。ドクターメドマー・ホットパック・マッサージチェアによる癒しの空間も残し、爪切りなど整容にも努め、会話の場を作ってきました。また、個別訓練では、理学療法士を中心にご利用者個々の身体能力に応じて個別機能訓練計画書を作成し、多職種と連携しながら運動能力向上に取り組み、ご自宅での日常生活が安心・安全にお過ごしできるよう目標に挙げて取り組んできました。

今後もお利用者本人やご家族との信頼関係を築きながら「利用日が待ち遠しい」サービス提供事業所として地域に根ざした事業経営に努めます。

### ア. 下関市配食サービス事業

今年度は昨年同様、利用者1名で週3回の利用となっております。延べ配食数156食を配達しました。配達の際には安否確認を確実にを行い、異変・異常時には即座に関係機関へ連絡が取れる体制を整え、地域の独居高齢者が健康に安心して暮らせるように支援しました。食中毒予防などにも細心の注意をはらい季節感、彩り、栄養バランスを考慮した家庭的で美味しい配食弁当を調理し配達しました。献立内容以外にも保育園児からの絵を添えた手紙を配食弁当と一緒にお渡しし、季節の絵を添えるなど、配食を通じて楽しむことが出来るよう工夫を行いました。今後も利用者が安心して食事が出るよう取り組んでいきます。

## 6. みどり園居宅介護支援事業所

今年度も介護が必要な状態になっても、住み慣れた地域で、安心して生活していけるように、介護支援専門員（ケアマネジャー）が本人や家族の希望に基づきケアプランを作成し、「その人らしい在宅生活実現」のサポートをしてまいりました。個別ケースをもとに事例検討会を毎月実施することで、適切な介護サービスが提供されているかを再確認し、足りない視点、足りないサービスの発見に繋がりました。

まず、利用者数についてですが、令和2年度の延べ利用人員は3,082名で、令和元年度3,420名に対し338名の減となっております。その中でも報酬の高い要介護度3～5の利用者数が142件減少と約4割以上を占めています。前年度より下回った理由は、重介護の利用者が入院や施設入所によりケアマネジメント契約を終了する件数が増加したためです。また新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止措置の為、新規相談ケースの受け入れをしばらく停止したことが、利用者減につながりました。

令和3年度も人材育成に重点を置き、すべての介護支援専門員が適切なケアマネジメントが出来ることを目標とし、一人ひとりの利用者に対して、質の高いケアマネジメントを提供できる教育、指導、管理体制整備に重点を置き、一定の水準でケアマネジメントを提供できるようになることを目指します。

## 7. ケアハウス わかば

今年度はコロナ禍により、すべての活動が感染対策を中心に考えなければならない異例の年でした。本来、ケアハウスは「自由な外出と外泊、多種多様な行事、面会の自由、他者との交流」など自由で開放的な生活が過ごせることが長所でした。しかし、コロナ禍によってそれらは、感染対策上ほぼすべてが禁じられることとなり、長所が失われ厳しい生活を過ごさざるを得ないことになりました。

館内への立ち入り制限がかかることで、見学の手続きも減少し、待機者の確保も難しくなりました。また、これまでは退院患者様を受け入れていましたが、今年度は入院先に面会制限があるために実態調査に行けず、入居を見合わせることもあり、その結果病院からの入居が「0人」でした。今後はICT（情報通信技術）機器の活用等で待機者確保につながるよう努めます。

今年度は退居の方が9名、新規の方が6名の入れ替わりがあり、満床を維持できずに稼働率98%となりました。欠員の問題として夫婦部屋の待機者があります。8月に夫婦部屋で暮らしていた夫婦の一方が入院先で亡くなったことで定員が49名となりましたが、夫婦部屋のために、他人を新規で入居して頂く事もできず、また、夫婦部屋に残った1人を他の部屋に移動するにも部屋が空いていないなど、新規入居の調整が非常に困難でした。

また、夫婦部屋の待機者ですが申し込みをしているものの、実際に入居の呼びかけをすると断られるケースが多く、入居に結びつかないのが現状です。そもそもケアハウスに入居される理由には、「配偶者が死去して、寂しい」、「独居になり不安」など独居生活がきっかけによるものが多く、夫婦が健在ならば一緒に家で生活を送りたいとの理由があるかと思われます。待機者不在が続き一時は部屋を改修して個室化ということも考えましたが、改修費にもコストがかかり簡単な問題ではありませんでした。11月に夫婦部屋の入居が決まりましたが、今後は広告募集なども考えて待機者確保に努めなければなりません。

行事についてはこれまでのようには出来ませんでした。敬老会、クリスマス会、ひな祭りの会など四季にちなんだ行事、そして、密を避け、発声を伴わない、布手芸や書道、脳トレなどを行いました。カラオケなど発声から生じる飛沫により、感染リスクが伴う行事は残念ながら中止にしています。外出や会話の機会が減る中で高齢者の虚弱化（フレイル）も懸念されます。施設において、活力ある生活と新型コロナウイルス予防の両立が非常に難しいものでありますが、人と人とのかかわりを改めて見直す必要があります。

感染予防として感染予防具、使い捨て容器の購入やセンサー付き体温計、プラズマクラスター設置、自動手洗い機などを備えました。消毒については1日数回の定期的消毒、エレベーターボタンにはセロハンを貼り工夫しながら消毒をしました。

開設17周年が過ぎ、修繕箇所が多くなってきています。配管設備やエアコンなど経年劣化が進み、思わぬ工事になることがありました。特に耐用年数が過ぎているものは更新が必要となり、維持管理がますます難しくなってきます。

サービス付高齢者住宅や有料老人ホームの多い中で、ケアハウスは厳しくなっていますが、低料金で安心して暮らせる施設として、存在意義を高める必要があります。入居者にとって今後も「わかばで暮らし続けたい」と思えるように、チームワークと多職種との連携をしながら、より良いサービス提供に努めます。

## 8. 下関市長府地域包括支援センター

令和2年度で下関市の定める業務委託期間の6年間が経過しました。この間、福祉・医療の専門職として地域福祉の課題に積極的に取り組み、地域福祉の向上に努めてきました。お陰様で地域の皆様のご理解・ご協力もあり業務を円滑に運営することができ、そのことが評価され、令和3年度から6年間、継続して下関市から業務委託を受けることに繋がりました。

今年度は新型コロナ感染拡大防止の中で、事業計画通りに活動できませんでしたが、このような環境下の中でも長府東部まちづくり協議会と共同で『災害弱者支援』に取り組めたことは大きな成果だったと思います。松小田北町自治会では、個人情報に留意しつつ、災害時避難者カード作成や具体的支援方法を検討することができ、現在では青年層参加による自主防災組織や支援体制が確実に進んできました。さらに山口県で初となる「長府地区減災ナース育成研修」企画にも協力し、災害時だけでなく平時から地域に密着した活動ができるよう準備を進めております。長府東部まち協だけでなく、長府まち協と合同会議開催ができたことも大きな進歩だったと思います。この防災活動が長府地区だけではなく下関市全体に広がることを期待しています。

その他活動内容については別紙【2020年度事業計画及び実績・明らかになった地域課題と対応状況】にて報告いたします。

### ◎総合相談支援事業

令和2年度の訪問、来所、電話による相談件数は11,814件(575件増)、月平均984件の対応を行いました。様々な悩みや質問、心配事の相談を受けましたが、主任ケアマネ、社会福祉士、看護師の3専門職が中心となり、包括内で情報共有し問題解決に取り組みました。

### ◎指定介護予防支援・介護予防ケアマネジメント事業

事業対象者、要支援1・2のケアマネジメントについては、1年間で6,688件(241件減)、内訳は直営3,233件(233件減)、委託3,455件(8件減)でした。中立公正に注意しつつ、利用者に合った介護サービスを紹介するよう心掛けました。予防プランの委託を拒否される事業所が多いため、今後もケアマネジャーとのネットワークを図りながら調整してまいります。

### ◎下関市高齢者住宅等安心確保事業

高齢者が自立して安心安全な生活ができるよう設計された、緊急通報システム付きのバリアフリー公営住宅で、長府古城市営A PのR 5, 6, 7, 10, 11の29部屋の入居者の安否確認、緊急時の駆けつけを24時間365日対応で行いました。日頃は包括職員が交代で生活相談室に出向き、生活指導や相談対応しました。この1年間は発報がありませんでした。今後も安心して生活していただけるよう支援していきたいと思えます。

#### ◎高齢者在宅福祉サービス事業

下関市福祉サービスの申請については、配食サービス、緊急通報サービス、日常生活用具給付の希望があり、訪問モニタリング実施し申請手続きをおこないました。今年度は配食サービス更新月のケースが多かったので、年間146件（46件増）の対応となりました。今後も皆様からの要望に迅速に対応できるよう努めます。

#### ◎介護予防ふれあい講座

今年度はコロナ禍でも、3密を避ける予防対策を地域の皆様に伝えながら、講座を13件開催しました。外出の機会もなく、閉じこもりになることで、心身ともに不活発化し、うつや認知症進行、筋力低下につながった高齢者も少なくありませんでした。認知症カフェは全面中止とし、サロン開催も中止にしている自治会が多い中で、百歳体操と介護予防ふれあい講座の開催だけが、地域の皆様の介護予防に資する活動となりました。

先が見えないコロナ禍のなかでも、いつまでも笑顔で健康に過ごして頂ける地域を目指して、介護予防活動に取り組みたいと思えます。



## 2020年度 明らかになった地域課題と対応状況

### 長府地域包括支援センター

発見された地域課題	地域課題が発見された背景	対応状況	今後の課題
1 8050問題が相談事例に内在していることが多くなっている。親無き後を思う。親が生存中に子供との繋がりが必要である。	担当ケアマネジャーや民生委員、時にヤクルト販売員などから「心配な方がいる」との情報が寄せられ発見された。	インテーク、定期訪問により、お困りごとや課題を抽出。親の介護保険や子の通院、山陽保健センターや健康推進課への報告及び相談など。	長府地域包括支援センターは高齢者を支援する機関だが、今後どのようにこの問題と向き合い、どのように関わらべきか等について下関市と協議、連携していくことが必要。地域の人々に共通の課題と考えていただくために気づきの種を蒔いていきたい。
2 高齢女性による、「独居で認知症のある高齢者」への頻回な金銭の搾取事件が起こった。	被害を受けた高齢者の担当ケアマネジャーやヘルパーから相談を受けたことにより発見された。	このケースは被害を受けた高齢者が施設入所したため、それ以上の被害に遭うことはなくなった。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後、地域の自治会長や民生委員、地域住民、生活支援課や警察など行政側とも連携し、高齢女性が出入りしているお宅があれば注意深く観察し、新たな被害者が出ないようにする。</li> <li>・個別ケア会議開催の必要性がある。</li> </ul>
3 以前から、個別会議をしているN町のケース。一見、落ち着いて生活できているように感じても、近隣ではトラブルが続き、住民は我慢を強いられている。小さな不満が重なり大きなトラブルになることも考えられる。	以前から民生委員や地域住民からの苦情がたびたび起こっていた。その後、ケアマネジャーが介入し、モニタリング時に、家族と近隣住民との口論が判明した。	これまでも地域ケア個別会議を開催し、情報共有に努めてきた。今後も民生委員や自治会、保健所、警察署、ケアマネジャーとの連携を図っていく。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者ではなく同居家族に問題がある難しいケース。近隣住民を巻き込んだトラブルの為、定期的に情報交換が必要。</li> <li>・同居家族を精神科受診に繋げることが課題である。</li> </ul>
4 令和元年度から、長府東部地区まちづくり協議会と協力して「災害弱者安心プラン」に取り組んできたが、まだ防災意識が低い地区が多く、又、災害時の避難体制や支援方法が確立していない。	2020年9月6～7日の台風10号では、3カ所の避難所開設や148名の避難者が不安な一夜を過ごした。会場に出向き、避難者の生の声を聴くと、防災用品や情報の不足、対応する職員が少ないことによる不安な環境であったことがわかった。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長府東部では「災害弱者安心プラン」の取り組みで要援護者の避難がスムーズに行えたところもあったが、ほとんどの自治会では問題が山積みであった。</li> <li>・「災害時避難」について勉強会企画をした自治会があった。</li> <li>・モデル地区では2年前から毎月会議を開催し、自治会全体の弱者カード作成や、若者の参加による自主防災組織が立ち上がりつつある。</li> <li>・減災ナースの役割や必要性を地域へ発信する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主防災の充実。</li> <li>・災害弱者支援の展開。</li> <li>・モデル地区の「災害弱者安心プラン」の成果を広く伝えることにより、長府全体の防災意識を高めていく。</li> <li>・まちづくり協議会の自主防災組織との連携をはじめ市の防災危機管理課や保健所と協力していく。</li> <li>・減災ナース育成研修の取り組みに参加し、包括としての災害時支援方法を学ぶ。</li> </ul>

令和2年度職員出張・研修実績報告

本部・みどり園

日	付	出張・研修内容	職種	参加人数	日	付	出張・研修内容	職種	参加人数
5月	22日	令和2年度 実習指導者会議 下関福祉専門学校	相談員	1名					
7月	16日	ふるさと山口 企業合同就職フェア	園長	1名					
8月	4日	令和2年度 「校内就職説明会」 下関福祉専門学校	相談員	1名					
	7日	社会福祉法人の集団指導	介護士	1名					
			事務員	1名					
			相談員	1名					
9月	2日	新型コロナウイルス感染症対応研修	看護師	1名					
10月	13日	令和2年度「やまぐち働き方改革推進優良企業表彰」授賞式	園長	1名					
	28, 31日	山口県主任介護支援専門員研修	介護支援専門員	1名					
	28日	令和2年度 認定調査員研修	介護支援専門員	1名					
11月	7, 18, 19, 24日	山口県主任介護支援専門員研修	介護支援専門員	1名					
	11日	ふるさと山口 企業合同就職フェア(高校生対象)	園長	1名					
	18日	医療・福祉の合同就職面接会	園長	1名					
	18, 25日	特定給食施設等研修(インターネット配信)	管理栄養士	1名					
			調理員	1名					
	20日	令和2年度 社会福祉事業功労表彰式典	相談員	1名					
	21日	高齢者施設・慢性期病院における新型コロナウイルス対策(オンライン)	事務員	1名					
12月	3, 7日	山口県主任介護支援専門員研修	介護支援専門員	1名					
1月	12日	山口県主任介護支援専門員研修	介護支援専門員	1名					
3月	16, 19, 23日	山口県主任介護支援専門員研修	介護支援専門員	1名					

令和2年度事業記録

本部・みどり園

日付	事項	日付	事項
4月	6日 消防設備点検 総合防災		2日 安全衛生委員会
	8日 地域公益活動買い物バスツアー（前八幡,月1回実施：ゆめタウン）		8～12日 介護等体験受入 梅光学院大学1名
	8日 花祭り		14～18日 介護等体験受入 創価大学1名
	9,10日 令和2年度 新規・中途採用職員研修会		15日 社会福祉法人地域公益活動推進協議会運営委員会（園長出席）
	9日 生花教室（月2回実施）		15日 電気設備点検
	開園39周年記念祝賀会 中止		敬老会 中止
	10日 地域公益活動買い物バスツアー（豊城町,月1回実施：ゆめタウン）		24日 特殊浴槽納入 取扱研修
	14日 地域公益活動買い物バスツアー（珠の浦,月1回実施：長府商店街）		28日 特殊浴槽取扱研修
	18日 郷土食（月1回実施）		28日 花火会
	21日 長府東部地区まちづくり協議会（園長出席）		29日 長府東部地区まちづくり協議会運営委員会（園長出席）
5月	1日 定例会議 中止	10月	1日 定例会議 中止
	11日 理髪（県美容業生活衛生同業組合下関支部）		7日 安全衛生委員会
	14日 日中想定火災避難訓練		16日 社会福祉法人地域公益活動推進協議会運営委員会（園長出席）
	25日 ボイラー定期点検		20日 結核予防検診
	26日 電気設備点検		28日 夜間想定火災避難訓練
	28日 エレベーター点検（フジテック：月1回実施）	11月	2日 介護等体験受入 東亜大学1名
	29日 社会福祉法人朋愛会令和2年度第1回監事監査（みどり園）		4日 安全衛生委員会
6月	1日 定例会議 中止		4日 消防設備点検
	5日 土砂災害訓練		9日 電気設備点検
	15日 社会福祉法人地域公益活動推進協議会運営委員会（園長出席）		10日 社会福祉法人地域公益活動推進協議会運営委員会（園長出席）
	館内害虫駆除	12月	2日 安全衛生委員会
	22日 理髪（県美容業生活衛生同業組合下関支部）		7～18日 下関福祉専門学校 実習生受入れ2名
	23日 社会福祉法人地域公益活動推進協議会役員会（園長出席）		9日 事業経営会議
	長府東部地区まちづくり協議会運営委員会（園長出席）		14日 下関看護専門学校オリエンテーション
	26日 第1回 入所検討委員会（みどり園）		14日 社会福祉法人地域公益活動推進協議会運営委員会（園長出席）
7月	1日 定例会議		15日 全国健康保険協会報酬等の調査の実施
	3日 中国電気保安協会 電気設備点検	19, 21, 22, 23日	第1・第2・第3・第4保育園サンタクロース訪問（副理事長）
	6日 事業経営会議		年末大掃除
	9日 スタッフ会議	1月	1日 お屠蘇の会 中止
	社会福祉法人地域公益活動推進協議会運営委員会（園長出席）		下関看護専門学校 実習受入れ中止
	16日 地域公益活動買い物バスツアー（四王司,月1回実施：ゆめタウン）		6日 電気設備点検
	21日 地域公益活動買い物バスツアー（才川一丁目,月1回実施：ゆめタウン）		6日 安全衛生委員会
	28日 長府東部地区まちづくり協議会役員会（園長出席）		6日 獅子舞披露
	30日 給食懇談会 書面对応		7日 獅子舞保育園訪問（長府第3・第1・第4・第2保育園）
	1日 定例会議 中止		20日 社会福祉法人地域公益活動推進協議会運営委員会（園長出席）
	5日 安全衛生委員会	2月	3日 安全衛生委員会
	ボイラー定期点検		9日 ボイラー点検
8月	6日 社会福祉法人地域公益活動推進協議会運営委員会（園長出席）		17日 日中想定火災避難訓練
	7日 盆供養		19日 社会福祉法人地域公益活動推進協議会運営委員会（園長出席）
	11～14日 下関中等教育学校 実習生受入れ1名		21日 長府東部地区まちづくり協議会運営委員会（園長出席）
	24～28日 介護等体験受入 桐朋学園大学1名	3月	3日 安全衛生委員会
	24日 自働ドア定期点検		10日 不在者投票 下関市長・市議会議員補欠
	28日 夜間想定避難訓練		15日 電気設備保守点検 中国電気保安協会
	31～4日 介護等体験受入 大谷大学1名		16日 社会福祉法人地域公益活動推進協議会運営委員会（園長出席）
9月	1日 定例会議 中止		23日 彼岸の法要

## 令和 2 年度 職員出張・研修実績報告

みどり園訪問介護事業所

研 修			研 修		
日 付	事 項	開催場所	日 付	事 項	開催場所
4月	10日 倫理綱領について 新型コロナウイルス対策について ※コロナ対策の為会議を中止し、各自回覧する		10月	9日 コミュニケーションについて	園内
5月	8日 新型コロナウイルス対策について ※コロナ対策の為会議を中止し、各自回覧する		11月	6日 リスクマネジメントについて	園内
6月	5日 介護技術（更衣介助）グループに分かれ実技をする	園内	12月	4日 利用者が主役となり、心に響く接遇を学ぶ	園内
7月	3日 記録の取り方について	園内	1月	8日 免疫力を高め、コロナに負けない身体作り ※コロナ対策の為会議を中止し、各自回覧する	
8月	7日 認知症について（軽度認知障害）	園内	2月	5日 介護保険法について深く、学ぶ	園内
9月	4日 虐待防止について	園内	3月	5日 障害者総合法を学ぶ（障害サービスの一例について	園内

## 令和2年度事業記録

みどり園デイサービスセンター

## 1. 行事・実習生受け入れ他

日付		事項	日付		事項	
4月	2～8日	通所介護 お花見の会 (デイサービスホール)				
5月	14日	日中想定火災避難訓練 (特養日中想定)				
6月	5日	令和2年度「土砂災害自主訓練」				
7月	16～22日	通所介護 そうめん流し (デイサービスホール)				
8月	3～8日	通所介護 かき氷の会 (デイサービスホール)				
9月	8～12日	教育職員免許法の特例に下づく「介護等の体験」実習生受け入れ	<b>2. 職員出張・研修</b>			
			日付	事項	場所	人数
	17～23日	通所介護 敬老会 (デイサービスホール)		コロナ感染対策の為、中止となる		
12月	18～24日	通所介護 クリスマス会兼忘年会 (デイサービスホール)				
1月	4～10日	通所介護 新年会 (デイサービスホール)				
2月	17日	日中想定火災避難訓練 (特養日中想定)				

## 令和2年度 職員出張・研修実績報告

## みどり園居宅介護支援事業所

日付	出張・研修内容	開催場所	参加人数	日付	出張・研修内容	開催場所	参加人数
7月	令和2年度山口県介護支援専門員専門研修Ⅱ及び更新研修Ⅱ	山口市	1名	11月	主任介護支援専門員更新研修【受講要件研修】	下関市	1名
					令和2年度主任介護支援専門員研修	山口市	1名
8月	令和2年度山口県介護支援専門員専門研修Ⅱ及び更新研修Ⅱ	山口市	2名				
	令和2年度山口県介護支援専門員研修（講師）	山口市	1名	12月	令和2年度主任介護支援専門員研修	山口市	1名
					認知症ケアを考える	山口市	1名
9月	令和2年度山口県介護支援専門員研修（講師）	山口市	1名				
	主任介護支援専門員更新研修【受講要件研修】	下関市	4名	1月	令和2年度主任介護支援専門員研修	山口市	1名
10月	主任介護支援専門員更新研修【受講要件研修】	下関市	4名	3月	令和2年度主任介護支援専門員研修	山口市	1名
	令和2年度主任介護支援専門員研修	山口市	1名		居宅ケアマネジャーのお仕事ガイド（講師）	山口市	1名

令和2年度事業記録

ケアハウスわかば

日付	事項	日付	事項
4月 1日	床暖房停止	12月 1日	文化祭片付け
9日	新任職員研修	8日	門松用竹取
5月 9日	母の日 カーネーションプレゼント	9日	居室換気扇掃除
21日	消防設備総合点検 (三晃空調・山口防災工業) 委託業者による受水槽清掃	23日	エレベーター点検 日立ビルシステム
25日	自家用電気工作物点検 (全館停電) 中国電気保安協会	15日	クリスマス会&忘年会
27日	第50回入居者懇談会	28日	門松設置 年末大掃除
6月 1日	エアコンフィルター掃除	1月 1日	お屠蘇の会 獅子舞
2日	住吉工業様よりマスク寄贈	8日	門松撤去
8日	エレベーター点検 日立ビルシステム	20日	自家用電気工作物点検 中国電気保安協会
16日	洗濯槽除菌作業 土砂災害避難訓練	2月 2日	豆まき
30日	日中想定避難訓練 建築物防火戸点検 山口防災工業	3月 3日	ひな祭りの会
7月 7日	七夕飾り	7日	下関市長選挙不在者投票
14日	自家用電気工作物点検 (全館停電) 中国電気保安協会	8日	エレベーター点検 日立ビルシステム
8月 7日	開園17周年記念祝賀会	15日	自家電気工作物点検 中国電気保安協会
9月 11日	自家用電気工作物点検及び改修工事 中国電気保安協会	<b>出張</b>	
17日	敬老会 (長府第4保育園)	9月 2日	認定看護師による入所者向け新型コロナウイルス感染症対策 下関勤労福祉会館 内田 (一)
10月 9日	結核予防健康診断 (山口県予防保健協会)	<b>定期的行事 (現在は感染予防のために一部のみ実施)</b>	
16日	消防設備総合点検 (山口防災)	毎月2回実施	毎月1回実施
20日	第51回入居者懇談会	カラオケ	映画の会
11月 1日	床暖房開始	楽しいレクリエーション	バスショッピング
5日	わかば文化祭 (30日まで)	懐かしの童謡・唱歌	季節のお菓子作り
10日、11日	みかん狩り 久山園	ショッピング	誕生日会
11日	自家電気工作物点検 中国電気保安協会	書道教室	身体測定
24日	夜間想定避難訓練	布手芸	行事業務会議
	わかば喫茶	百人一首	
			2ヶ月1回実施
			頭の体操 ゲーム大会

下関市長府地域包括支援センター（職員出張・研修）

日付	内容	場 所	参加人数	日付	内容	場 所	参加人数
7月 7日	山口県介護支援専門員専門研修課程Ⅱ	受講者自宅【動画配信】	1名	12月 9日	ひきこもり支援ワークショップ	下関市唐戸保健センター	1名
7月 21日	山口県介護支援専門員専門研修課程Ⅱ	セミナーパーク	1名	12月 17日	認知症施策推進研修会	山口県庁	1名
8月 22日	山口県介護支援専門員専門研修課程Ⅱ	セミナーパーク	1名	2月 25日	ひきこもり支援ワークショップ	しものせき環境みらい館	2名
8月 27日	キャラバン・メイトスキルアップ研修及び 連絡協議会	下関市役所	1名	3月 12日	厚生労働省老健事業：「認知症地域支援推進員の質の評価と向上のための方策及び認知症の人等の社会参加活動の体制整備に関する調査研究事業」報告会	みどり園多目的室 【ZOOM研修】	1名
9月 3日	主任更新受講要件研修 動画受講	受講者自宅【動画配信】	1名				
9月 4日	主任更新受講要件研修 動画受講	受講者自宅【動画配信】	1名	3月 26日	罪を犯した障害者・高齢者の支援に携わる福祉関係者のための研修会	長府包括【動画配信】	1名
9月 4日	地域包括支援センター管理職研修会	山口県庁	1名				
9月 12日	山口県介護支援専門員専門研修課程Ⅱ	セミナーパーク	1名				
9月 15日	主任更新受講要件研修 動画受講	受講者自宅【動画配信】	1名				
9月 30日	主任更新受講要件研修 動画受講	受講者自宅【動画配信】	1名				
10月 2日	山口県介護支援専門員専門研修課程Ⅱ	セミナーパーク	1名				
10月 9日	主任更新受講要件研修 動画受講	受講者自宅【動画配信】	1名				
10月 14日	主任更新受講要件研修 動画受講	受講者自宅【動画配信】	1名				
11月 2日	山口県高齢者虐待対応関係者研修会	山口県社会福祉会館	1名				
11月 12日	オンライン連携協議会「若年性認知症」	下関市役所	1名				
11月 13日	介護福祉施設の災害リスクマネジメント研修会	受講者自宅【ZOOM研修】	1名				



下関市長府地域包括支援センター

日付	事 項	日付	事 項	日付	事 項
4月 14日	認知症サポーター養成講座 下関看護専門学校	8月 25日	新四王司百歳体操	11月 19日	四王司買物支援
4月 17日	長府包括社会福祉士チーム会議	8月 27日	キャラバンメイトスキルアップ研修及び連絡協議会	11月 20日	長府包括看護師チーム会議
5月 18日	生活支援コーディネーターとの事業計画打ち合わせ	8月 29日	介護予防ふれあい講座【長府スロージョギングの会】	11月 24日	古城百歳サロン
5月 25日	松小田北町防災会議	8月 30日	豊城町防災会議	11月 26日	介護予防ふれあい講座【才川2町】
5月 25日	権利擁護利用についてケース会議	8月 30日	豊城東防災会議	11月 30日	松小田中央百歳体操
5月 25日	長府包括社会福祉士チーム会議	9月 1日	新四王司百歳体操	12月 1日	認知症カフェネットワーク（道くさカフェ）
5月 26日	推進室聞き取り	9月 1日	センター内虐待対応研修会	12月 3日	長府東部地区まちづくり協議会部会
5月 27日	地域ケア個別会議打合せ	9月 3日	長府東部地区まちづくり協議会部会	12月 3日	認知症サポーター養成講座 下関看護リハビリテーション病院
5月 28日	長府東部地区まちづくり協議会部会	9月 8日	新四王司百歳体操	12月 4日	長府包括社会福祉士チーム会議
6月 5日	長府地域8050問題情報交換会	9月 16日	下関リハビリテーション病院実習生受入	12月 7日	松小田北町防災会議
6月 5日	長府包括看護師チーム会議	9月 19日	介護予防ふれあい講座【長府スロージョギングの会】	12月 19日	長府スロージョギングの会
6月 9日	松小田北町防災会議	9月 19日	その他のケア会議（事例検討）	12月 22日	長府東部地区まちづくり協議会部会
6月 9日	地域ケア個別会議	9月 20日	松小田北町防災会議	12月 22日	防災「まちの減災ナース」会議
6月 10日	長府東部地区まちづくり協議会部会	9月 23日	長府東部地区まちづくり協議会部会	12月 23日	弁護士研修会開催
6月 15日	松小田北町防災リスト要援護者訪問・防犯啓発訪問	9月 24日	長府包括社会福祉士チーム会議	12月 28日	長府包括看護師チーム会議
6月 17日	地域ケア個別会議	9月 25日	長府包括看護師チーム会議	1月 7日	センター外職員とのケース会議
6月 19日	地域包括支援センター運営協議会	9月 27日	福祉員連絡協議会	1月 12日	防災会議（減災ナース）
6月 19日	長府東部地区自治会長会議	9月 29日	古城百歳サロン	1月 13日	センター外職員とのケース会議
6月 19日	長府包括社会福祉士チーム会議	9月 29日	介護予防ふれあい講座【豊城東】	1月 13日	個別会議打合せ
6月 20日	長府スロージョギングの会	9月 30日	地域ネットワーク会議	1月 16日	長府スロージョギングの会
6月 23日	豊城東サロン【出前講座】	10月 8日	新松原百歳体操1年終了支援	1月 22日	センター外職員とのケース会議
6月 29日	長府包括看護師チーム会議	10月 9日	保健推進委員研修会	1月 25日	長府包括看護師チーム会議
6月 30日	さつきヶ丘サロン【出前講座】	10月 11日	松小田北町防災会議	1月 26日	センター外職員とのケース会議
7月 2日	管理者・副管理者会議	10月 11日	豊城東防災会議	1月 30日	防災会議（減災ナース）
7月 4日	防災会議打合せ	10月 14日	松小田中央自治会会議【百歳体操】	2月 9日	防災会議（減災ナース）
7月 9日	長府地域高齢者人口・相談件数について推進室と話し合い	10月 15日	警察とウソ電話詐欺防止啓発活動	2月 16日	推進室聞き取り
7月 13日	介護予防ふれあい講座【新四王司】	10月 16日	介護予防ふれあい講座【長府珠の浦町】	2月 17日	事例検討会
7月 13日	松小田北町防災会議	10月 17日	介護予防ふれあい講座【長府スロージョギングの会】	2月 20日	介護予防ふれあい講座【長府スロージョギングの会】
7月 18日	介護予防ふれあい講座【長府スロージョギングの会】	10月 20日	長府地区の防災について話し合い	3月 4日	長府東部地区まちづくり協議会部会
7月 21日	長府包括看護師チーム会議	10月 22日	長府包括看護師チーム会議	3月 7日	長府東部地区地域福祉交流会
7月 25日	長府自治会長会議	10月 22日	長府包括社会福祉士チーム会議	3月 14日	松小田北町防災会議
7月 29日	ネットワーク会議	10月 27日	古城百歳サロン	3月 15日	パソコン・サーバー、複合機入れ替え
7月 30日	規定回数を超える訪問介護（生活援助中心型）の検討のための地域ケア会議	10月 28日	地域ネットワーク会議	3月 16日	データ移行作業
8月11、12日	シルバーハウジング点検	10月 29日	オンライン講義	3月 19日	長府・長府東部地区まちづくり協議会合同防災会議
8月 18日	新四王司百歳体操	11月 9日	松小田北町防災会議	3月 20日	介護予防ふれあい講座【長府スロージョギングの会】
8月 19日	地域ケア個別会議	11月 11日	介護予防ふれあい講座【長府珠の浦町】	3月 23日	長府包括社会福祉士チーム会議
8月 20日	長府包括社会福祉士チーム会議	11月 13日	豊城買物支援	3月 24日	地域包括支援センター運営協議会
8月 20日	包括内ケース会議	11月 13日	地域包括支援センター運営協議会	3月 24日	ふるさと祭り実行委員会
8月 21日	包括内ケース会議	11月 16日	介護予防ふれあい講座【松小田中央】	3月 25日	介護予防ふれあい講座【援助マリア修道会】
8月 24日	松小田北町防災会議	11月 17日	新四王司百歳体操	3月 29日	長府包括看護師チーム会議
8月 25日	福祉員連絡会議事前打ち合わせ	11月 17日	地域ネットワーク会議	3月 30日	管理者・副管理者会議

《月2回》包括定例会議／認知症初期集中支援チーム員会議【4～7月中止】／長府公民館出張相談【4、5月中止】

《毎月》所長会議【4、5、12月中止】／長府東部地区まちづくり協議会運営委員会【4、5、8、11、1月中止】／民生委員地区定例会 長府地区協議会【4、5、6月中止】／民生委員地区定例会 長府東部地区協議会【4、5、6、2月中止】／下関若年性認知症家族の会『ピースの会』【4～6、9、2月中止】／パート会議／弁護士相談会【11～1月中止】

《隔月》牛尾医院カンファレンス【5月中止】 《毎週火曜》古城百歳体操【4～6月、2月中止】 《地域密着型サービス運営推進会議》 開催中止